

高品位ガラスCDで待望の復活!



森山良子「日付のないカレンダー」(1976年作品) +この広い野原いっぱい、さとうきび畑

わたしの大好きなアルバムが、
最高の音質で蘇りました。

新鮮さに感動!

「日付のないカレンダー」は、私の大好きなアルバムです。高品位ガラスCDのサウンドの新鮮さに心から感動しました。見事に調和のとれた歌とオーケストラ、しかもそれぞれの細部がくっきりと浮かび上がります。音楽が心地よく伝わり、心も体も安らぎました。録音から36年を経て最高の音質で蘇り、永久保存されることを大変うれしく、そして誇りに思います。

森山良子



松本隆が、すべての作詞と構成を担当

「人生は心の暦、思い出は日付のないカレンダー、忘れないように心の片隅にしまっておきたい」森山良子と同じ団塊世代の松本 隆が作詞と構成を担当。録音時、森山良子28歳。一人の女性として人生の過ぎし日、1950～60年代の家族像と生活風景を生きいきと描いていきます。



アナログマスター・ダイレクト・マスタリング

森山良子「日付のないカレンダー」(1976年作品) +この広い野原いっぱい、さとうきび畑

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1月 小さな歴史(曲:森山良子) | 7月 バス通り裏(作曲:財津和夫) |
| 2月 中央線あたり(曲:森田公一) | 8月 いじっぱりな雨(作曲:瀬尾一三) |
| 3月 キングストンの街(曲:大野克夫) | 9月 グレイの背広(作曲:大野克夫) |
| 4月 悲しみの背表紙(作曲:森山良子) | 10月 心の休暇(作曲:森田公一) |
| 5月 DISNEY MORNING(作曲:細野晴臣下) | 11月 待宵草(作曲:筒美京平) |
| 6月 子供たちに教えなさい(作曲:岩沢幸矢) | 12月 ある微笑(作曲:森山良子) |

[ボーナス・トラック]

さとうきび畑(1969年版 作詞・作曲:寺島尚彦)

この広い野原いっぱい(オリジナル版 作詞・作曲:森山良子)

監修=本城和治(森山良子プロデューサー)、リマスタリング=福井末憲
原盤=ドリーミュージック(初出=PHILIPSレーベル)

アルバム「日付のないカレンダー」(録音:福井末憲、1976年5月録音)

SN28101EX

¥98,700(税込) 特製アクリル・ケース

¥84,000(税込) オリジナル・ブックケース

比較試聴用プラスチックCDつき

Extreme Hard Glass CD

《高品位ハード・ガラス製音楽CD》=ガラスCDとは？

ガラスCDは、従来のプラスチック樹脂製ではなく、レンズと同じ高級光学ハード・ガラスをCD基材に採用、匠の技により一枚一枚手創りで製品化されます。美術品のように優雅なCDフォルムから、「至宝のディスク・メディア」と賞賛されています。

ガラスCDは、音質劣化や経年耐久性など、従来のプラスチック樹脂製CDの問題をすべて一掃した、光学的に完全無欠のCDで、その寿命は100年とも1000年とも言われています(生活常温経年変化予測耐久テストにて)。

ガラスCDは今、何故必要とされているのでしょうか — その使命は？

世界的に名演・名録音盤として愛され親しまれた、レコード草創期からの音楽作品の多くは、音源マスターが劣化進行の危機に瀕しています。できる限り早期の音源の修復・復刻が望まれるところですが、その貴重な音源を、永久不変で未来永劫保護保存するために、ガラスCDは開発されました。

ガラスCDは、その比類なき高音質も大きな特色です。

音楽ファン憧れのアーティストの作品を、音楽制作関係者しか聴くことができなかった制作時のマスター・サウンド・クオリティで、ご家庭のCDプレーヤー音楽再生システムでも、生々しく再現し体験することができます。

35年の時空を超えて！

フィリップス時代手がけたマスター・テープと感涙の再会～ 森山良子「日付けのないカレンダー(1976年LPレコード作品)」 奇跡のガラスCD化

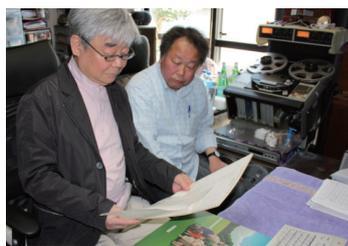
35年の時を経て、自身の手がけた作品マスター・テープとの再会に感涙

有限会社エヌ・アンド・エフ：録音家／Balance Engineer：福井 末憲

2011年4月6日、森山良子「日付けのないカレンダー(1976年LPレコード作品)」のガラスCD化のためのアナログ・マスター・ダイレクト・マスタリングのチャンスが、とうとう廻ってきました。

1908年9月、カラヤン第九(1962年録音)のガラスCDも、私の手でオリジナル・マスターよりマスタリングして市場に送り出しましたが、私にとってこの「日付けのないカレンダー」のマスター・テープとの再会はその時以上の感激でした。

森山良子の「日付けのないカレンダー」は、当時勤務していた日本フォノグラム(PHILIPSレーベル)で、私がレコーディングからマスタリングまで一貫して録音制作したものです。そのアナログ・オリ



ジナル・マスター・テープとの実に35年ぶりの再会です。テープを手にしたときには思わず涙しました。

夢にまで見た貴重なマスター・テープ音源から、私自身が開発した永久不変で究極のオーディオ・ディスク・メディアであるガラスCD作品として、再度市場に送り出せたのは制作者冥利に尽きますし、歴史的な運命の巡り合わせを強く感じます。

◀オリジナル・アナログ・マスターテープ

◀録音を担当したプロデューサー本城和治(左)と録音エンジニア福井末憲によるリマスタリング



⑥特製アクリルケース



⑦オリジナル・ブックケース

お申し込み後約1週間程度でお渡し予定

■お問い合わせ | メール: finenf@n-and-f.com | FAX: 045-421-0151 (N&F横浜)

優れた音楽性と耐久性！

従来のプラスチックCDは、光が複数方向に屈折する(複屈折)という現象や、温度や湿度の影響によるディスクの反りなどがあり、信号の読み取りが不十分ということが分かってきました。一方、高品位ガラスCDには(複屈折)がなく、温度や湿度の影響もないため、マスター音源に匹敵する品位が高く音楽性に優れた音質をほぼ永久に保持できる夢のCDと言われています。



▲(複屈折)の例(イメージ)